

住民対話討論会総括報告（猪名川総合開発工事事務所実施分）

1.開催概要

第1回

開催日時：平成16年1月25日（日）

開催場所：箕面市立箕面文化センター 8階大会議室

参加者数：河川管理者3名・ファシリテーター1名・発言者8名・委員3名

一般傍聴者117名

第2回

開催日時：平成16年2月14日（土）

開催場所：箕面市立箕面文化センター 8階大会議室

参加者数：河川管理者3名・ファシリテーター1名・発言者8名・委員2名

一般傍聴者101名

2.実施内容

- 1) 提出された意見は20通であった。（討論会で発言を希望しない2名を含む。）
- 2) 1回目の開催(3時間程度)では討論が終息せず、もう少し討論を続けることが必要となり、2回目を開催するに至る。尚、2回目の開催は、同会場にて同様の時間帯に設定をし、開催する。
- 3) 討論会については、ファシリテーターと8人の発言者を中心に討論を行い、また、会場内より意見を募集しファシリテーターが紹介を行った。（第1回、2回共同様）
- 4) 意見発表者の選択については、時間的な制約から、8名程度が適当であると判断し選考を行った。選考趣旨は、意見がなるべくバラエティーに富むよう考慮し、意見要旨の発表順序に関しても、同じ意見が続くのを避けるような配席に心がけた。また、選択されなかった意見投稿者についても、簡単な紹介を行った。

3.ファシリテーターからの報告

余野川ダムについての住民対話討論会

2004.2.25

ファシリテータ 澤井健二

【出された主な意見】

余野川ダムの目的（必要性）

利水

一庫ダムの利水容量の振り替え

どこの（だれの）ための利水なのか。

池田市、豊野町？

水需要予測が適切か

流域人口は近い将来 20~30%程度減少。

現在は水が余っている？

池田市、箕面市、阪神水道事業団は撤退。

しかし、湯水（取水制限）は頻発している。

水田の保水機能の減少。

今後、長期的には気候変動で湯水が頻発することが懸念される。

地震時等の非常時対策も必要。世界的には 21 世紀は水戦争の世紀？

他に水源が求められないか。

大阪府営水道（淀川）地下水（井戸）雨水、溜め池等、多様な水源。

水利権の公開、見直し。工業用水、農業用水。

水の再利用や生活様式の変更によって需要を減らせないか。節水。

九州などに比べて、阪神地区は水を使い過ぎ。

水道料金へのはね返し

治水

狭窄部上流多田地区の浸水被害の軽減

抜本的には狭窄部の開削が有効

それには下流の改修が前提

無堤地区の改修は 3 年でできる見こみ

下流の堤防強化については検討中

早期に効果を期待するには、一庫ダムの放流操作変更が有効

堆砂容量、利水容量の振り替え、嵩上げ、分水路

しかし、一庫ダムの流域は猪名川流域の 50%しか占めていない。

他に遊水地や緑のダム等が期待できないか。広葉樹林等の治山。流出係数の抑制。

下流部の浸水被害軽減

余野川自体の治水

99年の大雨（既往最大規模）で田畑が一部冠水

大阪府の管理区間であるため、国では計画がたてられない。

ダムによる治水安全度の向上を期待して、置き去りにされてきたのではないか。

余野川本川だけの治水なら、ダム以外にいくつか方法があると考えられる。

ダムにするとともに、規模を縮小できるはず。

国のダム計画に関連しているのだから、府の管理区間であっても、国が関与すべき。

猪名川本川下流部の治水

余野川ダムの集水域は猪名川流域の数%に過ぎず、猪名川本川への治水効果は小さい。

マニング式で推定すると、24cm程度の水位低下が見込まれる。

その精度はともかくとして、この程度の水位低下を効果が小さいと見るのか大きいと

見るのか。それは、予想被害額によって評価できるのではないか。

堤防天端より1.5m低い水位で破堤するという仮定での氾濫予想は大き過ぎないか。

河道の容量はもっと大きいはず。それより1.5mも低い水位で破堤するような堤防を

放置しているのは、管理者の怠慢でないか。余裕高の意味。水をためる機能はない。

河床掘削、引堤、遊水地、放水路、ソフト対策（避難、土地利用）

堤防強化

破堤には3つのタイプ（越水、洗掘、浸透）、計画高水位に至らなくても破堤はありうる。

洪水の原因

昭和35年（既往最大）規模の降雨は計画として大き過ぎないか。

計画洪水は雨量でなく流量で考えるべき。

被害想定は、ひとつの規模の洪水に対してのみ行うのではなく、種々の規模のものに確率を

掛け合わせて累加すべき。

上流の開発による流域の保水機能の低下

地球温暖化の影響等による豪雨の頻発の懸念

計画を上回る洪水への対応

異常気象の予測はきわめて困難であり、余裕をもった計画が必要。

ダムを作ると、計画を上回る洪水に対してかえって被害を大きくしないか？

被害をなくすことはできないが、浸水を遅らせる効果がある？

期待される効果

地域活性化

地元では、過疎対策として、西山宅地開発事業との一体化による相乗効果を期待。

超高齢化への懸念。若い力の導入には何をすればよいか。

道路建設、雇用拡大、集客、潤い・やすらぎ。人命。環境保全。地場産業や暮らし。

止々呂美地域まちづくり基本構想、水と緑の健康都市（400ha）、国土交通省の研究会。

財政難で規模は縮小。

交通の利便性、ポート、渡り鳥。桜並木。魚取り。

冬温かく、夏涼しい。親子で住めるエイジレスタウン。

治水、利水のため、水位の低い期間があるので、過剰な期待はできない。

弱者に強いまちづくり。小中一貫教育。

すでに、4割の土地を売却済みで、元に戻れない。

これらのはたして地域の活性化につながるか。新しい災害をひき起こさないか。

地すべりの懸念。砂地の部分と岩質の部分を識別。

市街化調整区域として残す。

ダムは地元の利益のために作るものではない。

しかし、犠牲に対する見かえりは欲しい。共栄。

懸念される問題

環境の悪化

近くの事例として、箕面川ダム、一庫ダムで水質が悪化。

周辺の状況にうまく景観がマッチし、新しい環境が創造されつつある？

自然の変動はしかたがないが、人為的な操作はよくない。

自然環境 気象、生物（生態系） 景観、土砂、下流のかく乱機能の低下、流況の変化、水質

社会環境 漁業（河口）

庫の地区は自然の宝庫。オオタカ。昆虫。

自然の治癒力が期待できる？

都市の近郊では開発は不可避？

市街化区域にする？

市民の加わった環境アセスの必要性

財政

すでに半分ほどの投資の済んだ現在、中止が許されるか。

多大の赤字を抱えている国の財政を考える時、多額の費用を要するダム建設はやめるべき。

治水・利水を考える時、財政の問題は別。節約は当然だが、必要なものには投資が必要。

ダムへの投資を堤防強化やもっと他の地元活性化対策に回せないのか。

特定多目的ダム法にこだわると、ダム以外への転用ができなくなる。

地域の安全や活性化を図るためのもっと広い視点に立った財政が必要。

【ファシリテーターの感想と今後の方向】

解決のいとぐち

行政の縦割りからの脱却

財政支出における、行政の縦割りの弊害から脱却しないといけない。

国と府県、市町村。国土交通省と他省庁等の分野間。

住民参画、情報公開

定量的、具体的なデータの公開。

市民参加によるアセスメント。合意形成。

事業制度としての「いわゆる総合治水事業」でなく、「文字通りの総合的な治水」の必要性。

流域の保水力の向上。浸水を許容した治水。一時的避難。移転も視野のひとつ。

種々の要因の総合評価

即効対策と長期対策の識別

従来の計画通りのダムの可否だけでなく、ダム規模の縮小も案のひとつ

地元活性化への流域を挙げての支援。技術、経済、行政の英知の結集。

ダムを拒否して、環境を優先させながら地域振興を図っている美山町の事例。

ダムを作らない場合の地元の治水対策の検討。

既に概成している導水トンネルの活用。

住民対話集会の意義と今後への期待

意義

いろいろな意見をもった住民が直接に意見を述べ合う良い機会であった。

発言者の人数

希望者が18人あったところを8人に絞ったのは適切。

もう少し少なくしてもよかったのでは。

前もって提出された意見書により、概ねダム推進と反対の意見が同数になるように発言者を選んだが、それでよかったか。希望者の内訳では反対意見の方が12人あった。

発言者に地元の方を2名入れたが、1人でよかったのではないか。

発言者の1人に市議員が含まれていたことに対する異論がアンケートにあったが、私は問題なかったと考えている。

もう少し、発言者の年齢構成が広がるよう工夫が必要。

討論会の回数

当初は1回のみを設定していた。しかし、十分な議論がつかせず、2回目を開催した。

2回目で十分議論が尽くせたかと言えば、そうではないが、意見の種類としては、出尽くしたように思える。

合意の形成に向けて

今後、住民の合意形成が必要になると考えられるが、それにはさらに討論会を継続する必要がある。しかし、その場合には、発言者、さらにはファシリテーターも選り直した方がよいであろう。また、発言者（場合によっては傍聴者も）が一度一緒に現地を視察することも有

効であろう。

いずれにせよ、討論会で発言できるのは限られた人数であり、これで、住民の意見を代表できているかどうかは疑問である。意見の種類としては網羅できているとしても、その人数分布を把握するため、住民全体にアンケート調査を実施することも有効であろう。

会場の形態とメンバーについて

今回は発言者のみが円卓形式で討論し、傍聴者は後ろから見る形になったが、会場全体としての一体感を持たせるには、円卓でなく、八の字型のテーブル配置が適切であろう。また、今回は事務所や流域委員はなるべく発言をしない形で進められたが、今後はリアルタイムで応答していただくのがよいのではなかろうか。傍聴者からの質問・意見書や発言の機会については、さらにより方法を考える必要がある。(たとえば、意見書をあらかじめ提出していただくなど)他の地域で行われているように、ポストイットを用いたワークショップ形式も一法であるが、深い議論にはなかなか入りにくく、また、テーブルが複数あると、他のテーブルでの議論の内容が把握できないので、パネル形式は持続していただきたいと考えている。

討論は必ずしも一同に会した討論会の形式だけでなく、インターネットを介した電子討論も可能であり、適宜組み合わせではどうであろうか。また、人によって知識レベルに大きな開きがあるので、レベルごとに分けた討論会の企画も有効であろう。

発言者の用意された資料や説明がわかりづらい場合もあったが、これは、事前に資料を提出してもらったり、場合によっては専門家に補助をしてもらってはどうか。

テーマの絞込みについて

今回は1回目の前半は発言者に自由に発言していただき、その後、テーマごとに討論を進めた。が、今後はさらにテーマを絞り込んで人選を行うなどの工夫も有効であろう。

発言者のマナーについて

発言に当たっては、お互いの感情を害さないよう、言葉使いに気をつける必要がある。

また、1回の発言をあまり長くすると、他の方に迷惑をかけるだけでなく、焦点がぼやけるので、簡潔にまとめて発言していただく必要がある。

4. 発言応募数及び当日発言者数

実施日	開催地区	発言者		選 定 理 由
		応募者数	発言者数	
1/25	第 1 回 箕面地区	18	8	反対意見 12 名、中立的意見 1 名、賛成意見 5 名の 応募があり、時間的制約、発言内容のバランス を考慮し 8 名を選出。 (反対 4 名・中立 1 名・賛成 3 名(地元住民 2 名 含む))
2/14	第 2 回 箕面地区			
意見のみ		2		討論会での発言を希望しない方等
合 計		20	8	

5. 傍聴者の事前申込方法

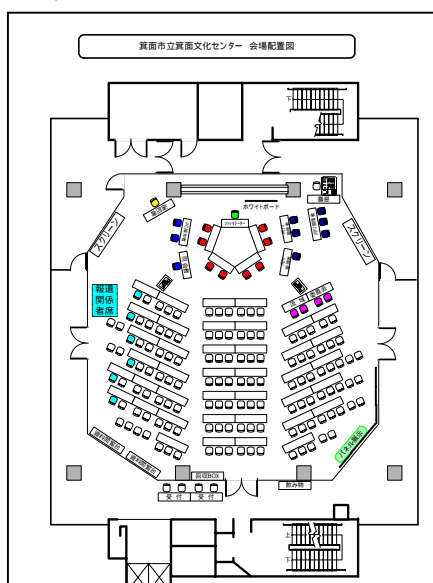
実施日	開催地区	葉書	FAX	メール	その他	合 計
1/25	第 1 回 箕面地区	1	48	59	3	111
2/14	第 2 回 箕面地区	5	24	34	0	63
合 計		6	72	93	3	174

6. 会場内当日意見数

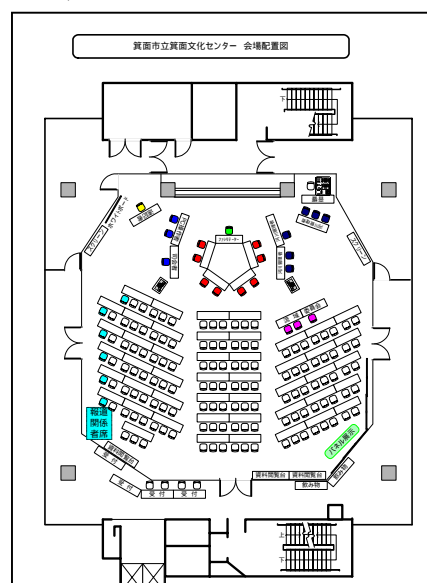
実 施 日		開 催	意見数
1/25 (日)	13:30 ~ 16:30	第 1 回	32
2/14 (土)	13:30 ~ 16:30	第 2 回	16

7. 座席配置図

1) 第 1 回開催時



2) 第 2 回開催時



8.アンケート結果

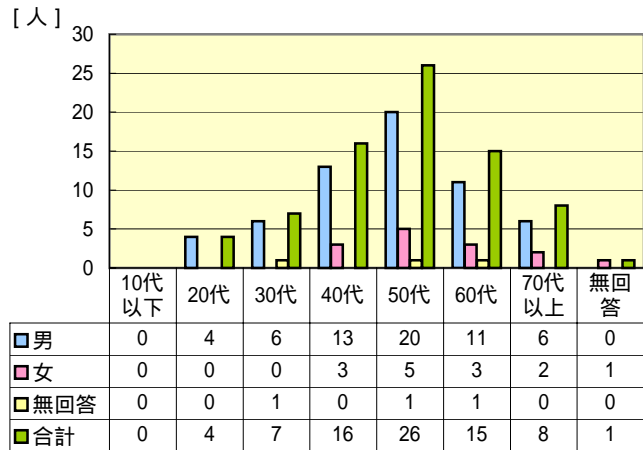
住民対話討論会 アンケート結果

1) 第1回開催時

年代・性別

回収枚数	77
------	----

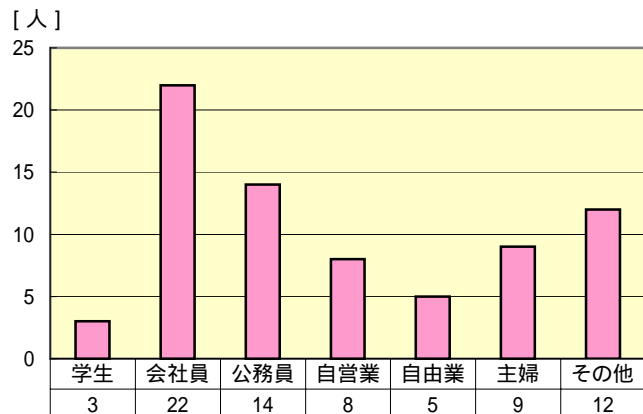
	男	女	無回答	合計
10代以下	0	0	0	0
20代	4	0	0	4
30代	6	0	1	7
40代	13	3	0	16
50代	20	5	1	26
60代	11	3	1	15
70代以上	6	2	0	8
無回答	0	1	0	1
合計	60	14	3	77



職業

有効回答数	73
-------	----

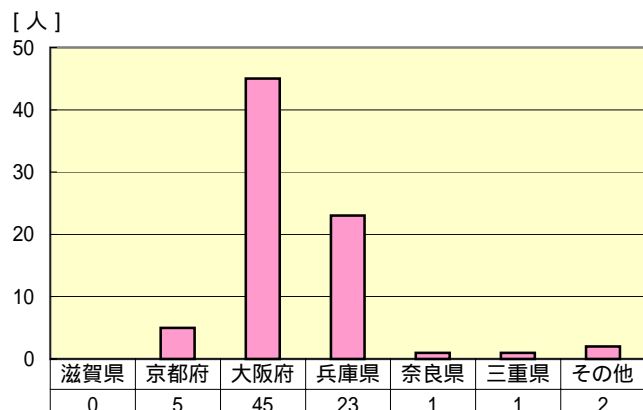
学生	3
会社員	22
公務員	14
自営業	8
自由業	5
主婦	9
その他	12
無回答	4
合計	77



住所

有効回答数	77
-------	----

滋賀県	0
京都府	5
大阪府	45
兵庫県	23
奈良県	1
三重県	1
その他	2
無回答	0
合計	77



Q1.この住民対話討論会に参加いただいたきっかけを以下から選んでください。(複数回答可)

有効回答数 90

国土交通省 事務所から案内があった 45

- ・猪名川河川事務所 6
- ・猪名川総合開発工事事務所 18
- ・猪名川工事事務所 7
- ・猪名川事務所 8
- ・池田事務所 1
- ・記入なし 5

流域委員会に所属する委員から紹介された 3

知人(委員以外)から紹介された 5

行政関係者から紹介された 7

自治体窓口のチラシ 3

ホームページ(近畿地方整備局 河川事務所等) 8

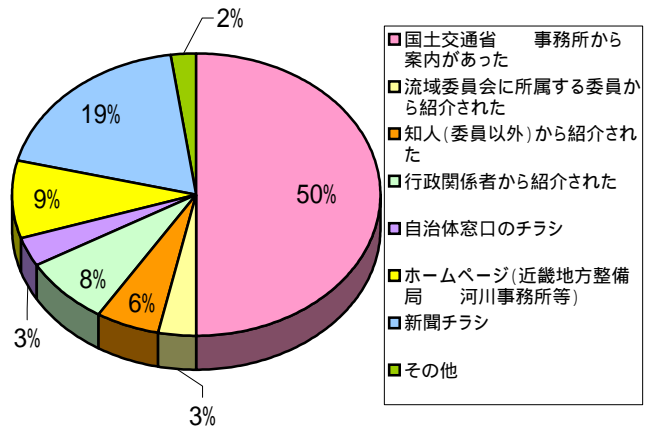
- ・猪名川事務所 2
- ・猪名川総合開発工事事務所 1
- ・記入なし 5

新聞チラシ 17

その他 2

無回答 3

合計 93



Q2.今回の参加目的を以下から選んでください。(複数回答可)

有効回答数 124

余野川ダムに関心があった 64

環境に関心があった 26

どのような会なのか関心があった 18

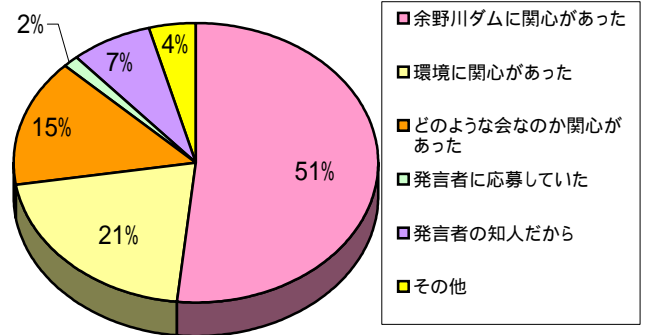
発言者に応募していた 2

発言者の知人だから 9

その他 5

無回答 0

合計 124

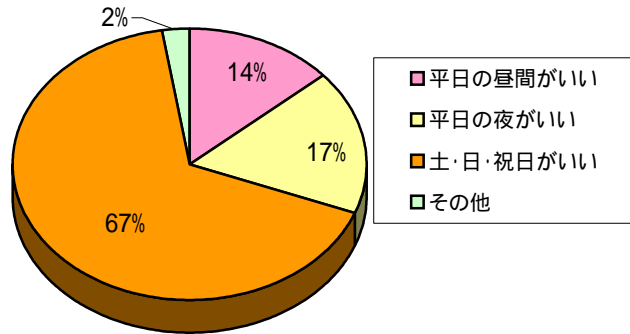


Q3.住民対話討論会の運営に関するご意見を以下から選んでください。

3-1.実施する曜日と時間について (複数回答あり)

有効回答数 81

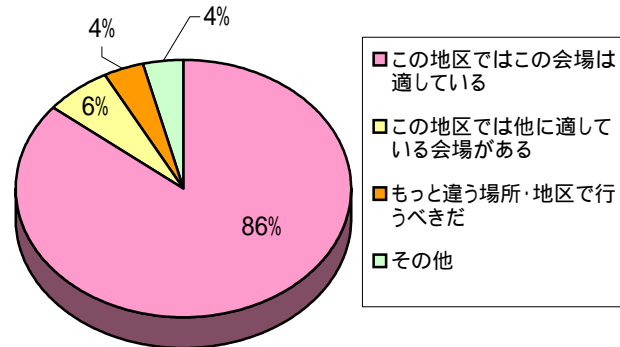
平日の昼間がいい	11
平日の夜がいい	14
土・日・祝日がいい	54
その他	2
無回答	0
合計	81



3-2.実施場所・地区について (複数回答あり)

有効回答数 78

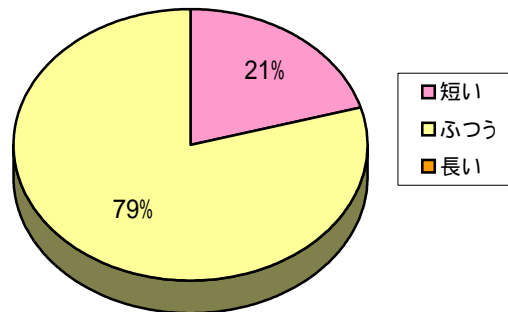
この地区ではこの会場は適している	67
この地区では他に適している会場がある	5
<ul style="list-style-type: none"> ・メイプルホール等 1 ・箕面市民会館 (駐車場が無料使用可) 1 ・伊丹情報センター 1 ・池田市民会館・アステール・川西市民会館 1 ・同じ場所の方がわかりやすい 1 	
もっと違う場所・地区で行うべきだ	3
<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市中央区 大阪産業創造館 1 ・川西 1 ・記入なし 1 	
その他	3
<ul style="list-style-type: none"> ・広い場所 1 ・交通の便のよい場所 1 ・ダム建設場所に係らず 事業に影響ある地域 1 	
無回答	1
合計	79



3-3.住民対話討論会での討議時間について

有効回答数 68

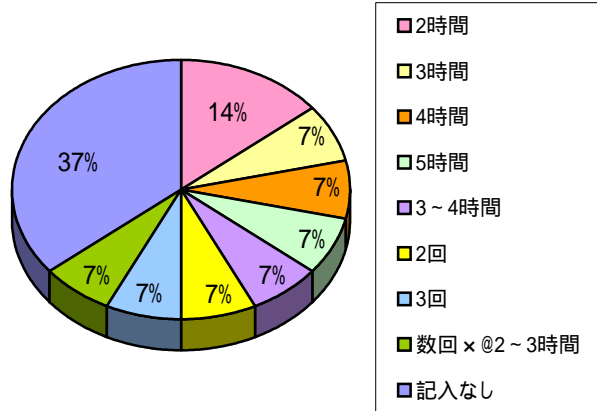
短い	14
ふつう	54
長い	0
無回答	9
合計	77



短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だと思いがすが。

有効回答数 14

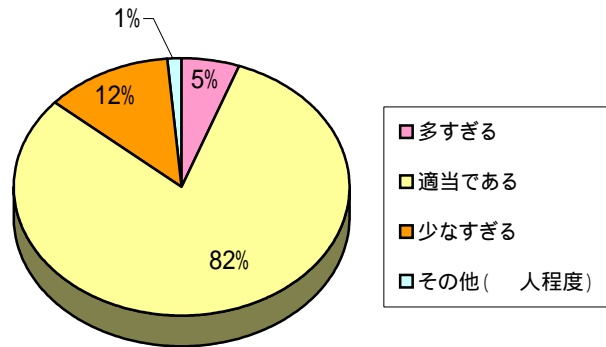
2時間	2
3時間	1
4時間	1
5時間	1
3～4時間	1
2回	1
3回	1
数回×@2～3時間	1
記入なし	5
合計	14



3-4.発言者の人数について (複数回答あり)

有効回答数 73

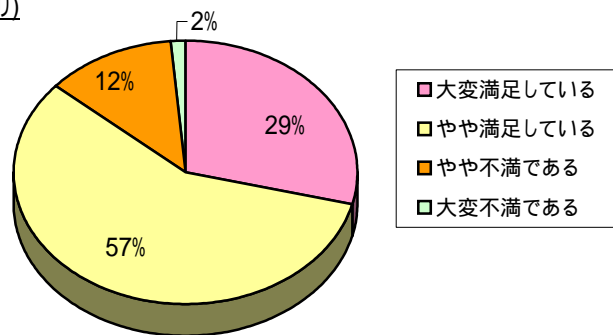
多すぎる	4
適当である	59
少なすぎる	9
その他(人程度)	1
〔・6人 1〕	
無回答	6
合計	79



3-5.ファシリテーターをおく方式について (複数回答あり)

有効回答数 66

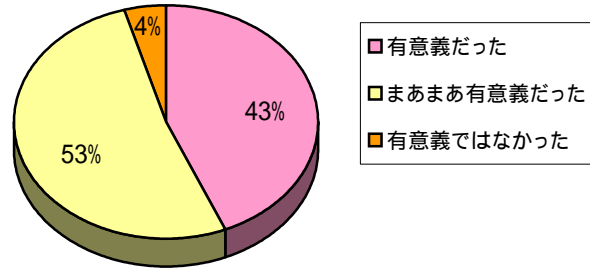
大変満足している	19
やや満足している	38
やや不満である	8
大変不満である	1
無回答	12
合計	78



Q4. 今回の住民対話討論会について (複数回答あり)

有効回答数 69

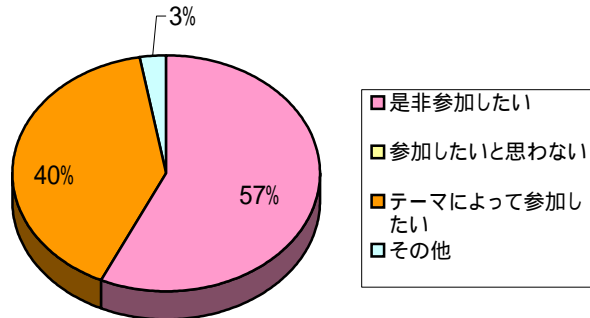
有意義だった	30
まあまあ有意義だった	36
有意義ではなかった	3
無回答	9
合計	78



Q5. 今後このような住民対話討論会があった場合、参加したいと思われませんか (複数回答あり)

有効回答数 72

是非参加したい	41
参加したいと思わない	0
テーマによって参加したい	29
その他	2
<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ参加(傍聴)したい 1 ・余野川ダムに賛成の地域住民と話し合える場の設定がほしい 1 	1
無回答	6
合計	78

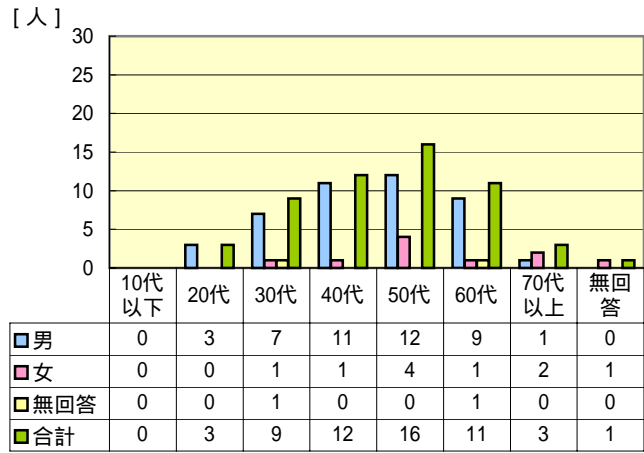


2) 第2回開催時

年代・性別

回収枚数 55

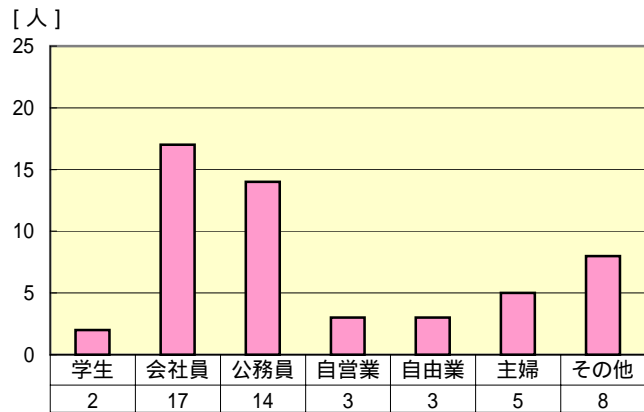
	男	女	無回答	合計
10代以下	0	0	0	0
20代	3	0	0	3
30代	7	1	1	9
40代	11	1	0	12
50代	12	4	0	16
60代	9	1	1	11
70代以上	1	2	0	3
無回答	0	1	0	1
合計	43	10	2	55



職業

有効回答数 52

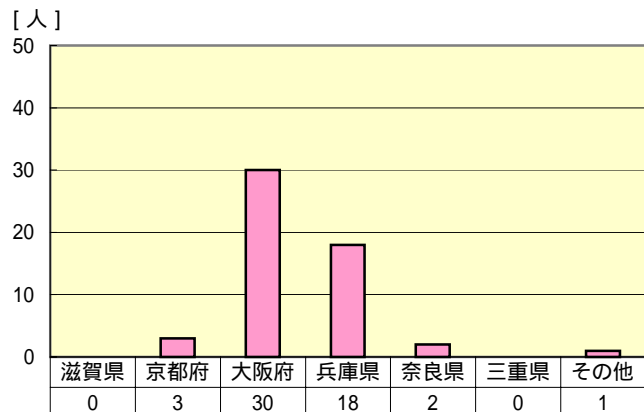
学生	2
会社員	17
公務員	14
自営業	3
自由業	3
主婦	5
その他	8
無回答	3
合計	55



住所

有効回答数 54

滋賀県	0
京都府	3
大阪府	30
兵庫県	18
奈良県	2
三重県	0
その他	1
無回答	1
合計	55



Q1.この住民対話討論会を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

有効回答数 76

国土交通省 事務所から案内があった 24

- ・猪名川河川事務所 1
- ・猪名川総合開発工事事務所 13
- ・猪名川工事事務所 1
- ・猪名川事務所 3
- ・記入なし 6

流域委員会に所属する委員から紹介された 2

知人(委員以外)から紹介された 5

行政関係者から紹介された 0

自治体窓口のチラシ 5

ホームページ(近畿地方整備局 河川事務所等) 7

- ・猪名川事務所 1
- ・猪名川総合開発工事事務所 2
- ・記入なし 4

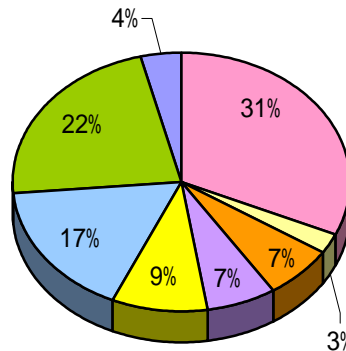
新聞チラシ 13

前回の住民対話討論会に参加した 17

その他 3

無回答 1

合計 77



- 国土交通省 事務所から案内があった
- 流域委員会に所属する委員から紹介された
- 知人(委員以外)から紹介された
- 行政関係者から紹介された
- 自治体窓口のチラシ
- ホームページ(近畿地方整備局 河川事務所等)
- 新聞チラシ
- 前回の住民対話討論会に参加した
- その他

Q2.今回の参加目的を以下から選んでください。(複数回答可)

有効回答数 100

余野川ダムに関心があった 38

環境に関心があった 13

前回の住民対話討論会に参加した 23

前回の住民対話討論会に参加できなかった 4

どのような会なのか関心があった 11

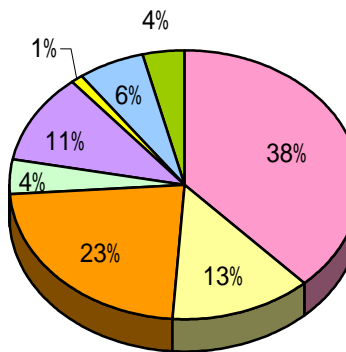
発言者に応募していた 1

発言者の知人だから 6

その他 4

無回答 0

合計 100



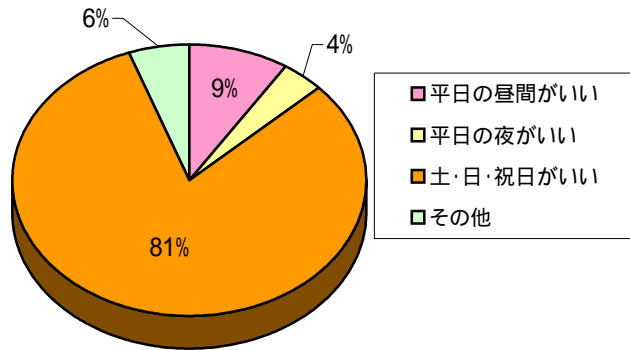
- 余野川ダムに関心があった
- 環境に関心があった
- 前回の住民対話討論会に参加した
- 前回の住民対話討論会に参加できなかった
- どのような会なのか関心があった
- 発言者に応募していた
- 発言者の知人だから
- その他

Q3.住民対話討論会の運営に関するご意見を以下から選んでください。

3-1.実施する曜日と時間について

有効回答数 54

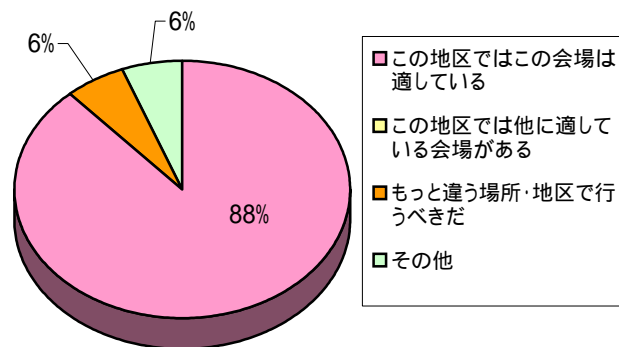
平日の昼間がいい	5
平日の夜がいい	2
土・日・祝日がいい	44
その他	3
無回答	1
合計	55



3-2.実施場所・地区について (複数回答あり)

有効回答数 52

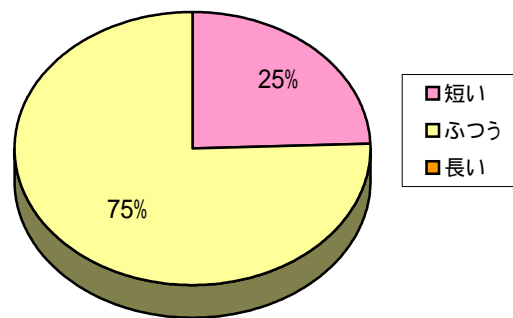
この地区ではこの会場は適している	46
この地区では他に適している会場がある	0
もっと違う場所・地区で行うべきだ	3
<ul style="list-style-type: none"> ・細河会館 1 ・川西市民会館 1 ・川西市 1 	
その他	3
<ul style="list-style-type: none"> ・川西でもしてほしい 1 ・交通の便のよい場所 1 ・記入なし 1 	
無回答	4
合計	56



3-3.住民対話討論会での討議時間について

有効回答数 53

短い	13
ふつう	40
長い	0
無回答	2
合計	55

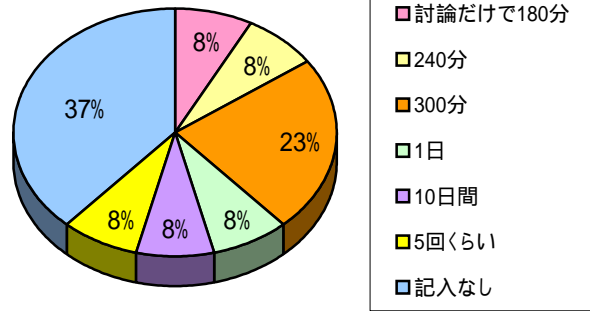


第2回 住民対話討論会 アンケート結果

短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だと思いがすが。

有効回答数 13

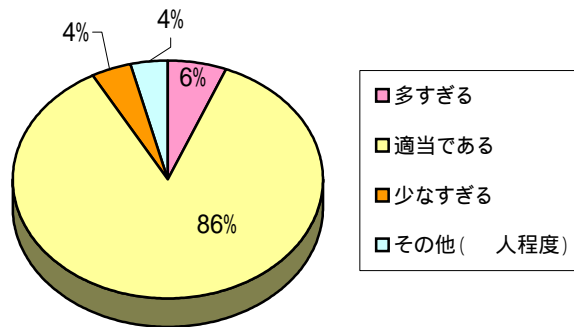
討論だけで180分	1
240分	1
300分	3
1日	1
10日間	1
5回くらい	1
記入なし	5
合計	13



3-4. 発言者の人数について

有効回答数 50

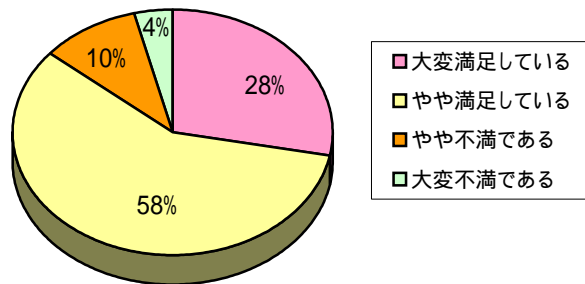
多すぎる	3
適当である	43
少なすぎる	2
その他(人程度)	2
無回答	5
合計	55



3-5. ファシリテーターを介して討論会を行う方式について

有効回答数 50

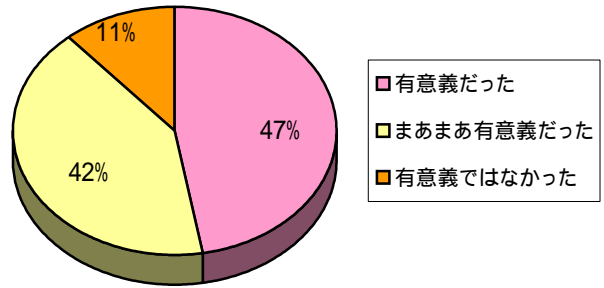
大変満足している	14
やや満足している	29
やや不満である	5
大変不満である	2
無回答	5
合計	55



Q4. 今回の住民対話討論会について

有効回答数 53

有意義だった	25
まあまあ有意義だった	22
有意義ではなかった	6
無回答	2
合計	55



Q5. 今後このような住民対話討論会があった場合、参加したいと思われませんか

有効回答数 53

是非参加したい	27
参加したいと思わない	1
テーマによって参加したい	25
その他	0
無回答	2
合計	55

